



市民参加の土壌をはぐくむ。地域の担 い手探訪1泊2日ツアー開催 📍 静岡県浜 松市～掛川市

開催日程

2025年2月21日(金)～2025年2月22日(土)

2月21日(金) 1日目 📍 浜松市

静岡県最大の人口を誇る浜松市。「ものづくり都市」として全国的に知られる浜松市は、挑戦を恐れず新たな可能性を切り拓く気質、「やらまいか精神」が息づいています。

この精神のもと、自動車や楽器など、数多くの革新的な産業が誕生し、発展してきましたが、広域にわたる人口減少や高齢化とともに、次世代産業への対応や公共交通の利便性向上が急務となっています。

そんな浜松で活発にまちづくりに取り組んでいる場所や人を巡ります。

2月22日(土) 2日目 📍 掛川市

日本のほぼ中央に位置する掛川市は、日本の二大都市である東京と大阪の中間、また静岡県の大都市である静岡市と浜松市の間に位置した、いわゆる“まん中都市”です。

掛川市は自然、歴史、文化資源がほどよく整い、農・工・商・サービス産業がバランスよく調和したまちで、移住者にとっても「田舎過ぎず、都会過ぎない、ちょうどいい暮らしができるまち」として人気の都市です。

その一方で、農業の担い手不足や若年層の流出が進む中、観光資源や地域資源を活かした持続可能な産業創出が求められています。

そんな掛川市でまちで課題解決の最前線でまちづくりを担う、担い手を巡ります。

タイムライン

1日目 (2月21日)

10:30	浜松駅集合
11:30-12:00	みかわや コトバコ 見学
12:00-13:00	ランチ 📍 KIZUKI
13:00-14:00	尾張町エリア散策 <i>Attend by</i> 大端 将さん
14:00-14:15	移動
14:15~14:45	FUSE視察見学
14:50~15:40	地域活性の秘策ロケ地誘致
15:40~15:50	休憩
15:50~16:15	HACKのまちづくり解説
16:15~16:45	新川モール周辺のまちあるき
17:00-19:00	静岡のキーパーソンたちのゲストトークセッション 📍 イベントスペースSOU
	宿泊

2日目 (2月22日)

9:00	宿出発
10:00-10:30	the Port kakegawa 見学
10:30-11:45	掛川市内まちあるき <i>Attend by</i> 長濱 裕作さん
11:45-12:30	掛川のキーパーソンたちのゲストトークセッション 📍 the Port kakegawa
12:30-13:00	ミニワーク
	解散

浜松

みかわや | コトバコ

浜松市尾張町の交差点にある複合拠点。約7年間空き家だった建物を2019年にリノベーション。かつて、この場所で雑貨店を営んでいた「三河屋」の屋号を受け継いで、いくつもの事業主が運営に携わる複合拠点「みかわや | コトバコ」として、オープン。

食堂、製本所、野菜市、お菓子屋...などここを拠点として生まれた事業は多数にのぼり、ローカル新聞の制作やポッドキャストの発信、ご近所さんや遠くの仲間たちと一緒に祭りも開催したり...浜松の盛り上げの拠点となっている。



お食事処 KIZUKI

みかわや | コトバコの中に店舗を構えるカフェ。日本の食文化の中で生まれてきた「発酵モノ」をふんだんに使い、なるべく地元のもの、安心なものを選んだやさしい献立。





浜松市内で空き家活用



▶ 尾張町まちあるき案内人

大端 将（おおはたしょう）さん

みかわや | コトバコ管理人

＼これが聞きたい／

複合店舗をはじめた理由は？

どのタイミングで、ビジネスとして成り立たせることができるのか？

どんなまちが「元気なまち」と言えるのか？

▶ 参考記事

gramme (グラム)

瓦の魅力と普遍的価値を伝える体験型のコンセプトカフェ

瓦という日本の伝統文化を日常に感じることでできる空間づくりが特徴的。人の暮らしがより豊かになるようなオリジナルのお茶と和スイーツがある。



頭山（あたまやま）

古い建物を利用して、むき出しの天井や壁の骨組みをあえてそのまま残し、モダンなデザインの中にレトロな雰囲気演出。

大端将さんと器専門店「Rohan（ロハン）」（中区）を経営する鈴木林太郎さんが共同店主を務める。大端さんが植物を扱う店を持ちたいと考え、こだわりの鉢を使おうと鈴木さんに相談したことをきっかけにオープンした。陶芸作家が手がける鉢を使うため、それに見合う植物を販売したいと考え、日本の伝統文化である盆栽を取り扱う。店名は、植物を話題にする落語の演目「頭山」から引用し名付けた。



▶ [参考記事](#)

Co-startup Space & Community FUSE

コトを起こす、すべての人々へ。スタートアップに必要なプロセスは、ここですべて体験できる。

「FUSE」とは浜松いわた信用金庫が「事業を立ち上げようとする全ての人のために開設したイノベーションハブ拠点」です。「FUSE」には“融合”や“導火線”という意义があり、信用金庫の全てのステークホルダーが集まり、知識や経験をシェアして、新しい事を始める人やアイデアが融合し、集まった人たちのやる気の導火線に火をつける場（コワーキング、キッチン、ラウンジ、ファブスペース、イベントスペース）を提供し、職員が伴走支援している拠点です。FUSEスタッフと会員間でイベント企画、プロジェクト立ち上げなど、FUSEに集まる人たちが繋がって新しい事を起こしています。



▶ [参考記事](#)

浜松市役所 産業部 観光・シティプロモーション課 フィルム・コミッション推進室長によるロケ地誘致の奥義 by原田 憲治さん

地域の資源をエンタメに昇華させるノウハウ。他の地域でも汎用性はあるのか。

水曜日の3rd喫茶 Vol.14

「浜松ロケの仕掛人」

壊れたブルドーザー!? と評される人物

浜松市役所産業部

観光・シティプロモーション課
フィルムコミッション推進室長

原田 憲治

2023/08/23 Web
18:30-20:30 ※19:20 トークスタート
@イベントスペースSOU

＼これが聞きたい／

- どうやって誘致するの？
- 浜松のロケ地としての魅力って？
- 経済効果は？

- 他の地域への汎用性は？
- ▶ 参考記事

（株）HACKのまちづくり解説 by 伊達 善隆さん

39歳で創業150年のベンチャー企業6代目代表を務めながら、（株）HACKの共同創業者でもある。

「街の価値を上げ続ける」を理念に、店舗運営を通じて豊かな街づくり・地方創生を行う傍ら、「自分ゴトがあふれる街を作る」ために幅広い人とつながり、ユニークな仕掛けで多くの人々の心を動かしている。



＼これが聞きたい／

- 地銀や企業を動かすには？
 - プロトタイピングの民主化を広げるためには？
 - アイデアを形にしてマネタイズまで実現する考え方
- ▼ 参考記事

「お金の亡者」と言われたリーダーが大量退職で気づいた組織...
言われたことだけを淡々とこなす社員。「こんなもんでいいだろう...」と、いつのまにか高い目標を掲げなくなった組織...。明治元年創業の株式会社鳥

▶ <https://bizhint.jp/report/1228159?trcd=feature1&fbclid=IwY2xjawlkDx1l...>



危機を飛躍のチャンスに。ダイナミックな事業変革、老舗食企...
「ピンチをチャンスに」という言葉をよく耳にするが、実際にピンチを乗り越えるためにはどんな方法があるのだろうか。その一つの答えは、変化し続

👁️ <https://data.wingarc.com/localdxlab-22-shizuoka-77413?fbclid=IwY2xja...>



夜のコンテンツ

静岡を盛り上げるキーパーソンたちのトークセッション



★ゲスト

宮地 紘樹（みやちひろき）さん

掛川東病院 院長

地域交流を活性化するビールづくりをしたり、地元のスーパーとコラボしてお弁当の献立を開発していたり...東京と掛川の2拠点生活をしながら地方での医療改革に取り組んでいる。

＼これが聞きたい／

- 市民の主体性を引き出すには？
- 掛川だからできる市民への仕掛け方
- 多様な人とコラボできるワケ
- アイデアを実現させる方法
- 掛川のポテンシャル

▼ 参考記事

掛川の街を盛り上げる人たち | No.2 宮地 ...

「掛川の街を元気にしたい！」・・・この目標をエフ・ベースとともに目指す地域の“仲間たち”

 https://fbase.jp/people_kakegawa/no2_miyac...

東京⇄掛川の2拠点生活。フリーランスド...

掛川の暮らしを発信するWebメディア「掛川暮らしのマガジン」。特集「掛川で働く」では、掛川

 <https://kakegawa.site/2021/01/25/dr-miyachi-...>

ひまわりビールで『つながり』を！医師...

「お酒は身体に良くないから控えて下さい。」健康診断や病院で、そんな風に言われた経験はあり

 <https://www.jbja.jp/archives/48613>

【地域連携】地元スーパーさんとのコラ...

掛川東病院は、急性期医療を終了した回復期や在宅復帰準備の患者さんおよび慢性維持期の患者さ

 <https://www.kakegawa-higashi.com/news/20...>



★ゲスト

伊達 善隆（だて よしたか）さん

株式会社HACK 共同創業者 / 株式会社鳥善 代表取締役

「街の価値を上げ続ける」を理念に、店舗運営を通じて豊かな街づくり・地方創生を行っている。水曜日のヨル喫茶、通称「水ヨル」と呼ばれる地域内外のビジネスパーソンがゆるく越境するサードプレイスを立ち上げ・運営。

＼これが聞きたい／

- 市民の主体性を引き出すには？
- 浜松だからできる市民への仕掛け方
- 多様な人とコラボできるワケ
- 盛り上がっている街とは？

▶ 参考記事

《宿泊先》 365BASE outdoor hostel

2017年、地元の小さな不動産屋さんが、元社員寮をリノベーションし「アウトドア好きの秘密基地」をコンセプトにした宿泊施設をスタート。

「浜松にはビジネスホテルはたくさんあっても、面白い宿がないからワクワクするような面白い宿をつくらう！」という思いから始まった遊び場のような宿泊施設。



▶ [参考記事](#)

掛川

the Port kakegawa

【「学び・遊び・暮らし」を通じて生涯学習&報徳思想を実践】をコンセプトに、元旅館の建物をリノベーションした共創型コミュニティレジデンス。全国フリーランス共創コミュニティ「新しい働き方LAB」の「個人の新しい働き方を実証実験する研究員制度」プログラムの一環で、全国から活動への参加者を募り、まちの活性化に挑戦している。



the Port kakegawa

共創型コミュニティレジデンス「the Port kakegawa」をベースに、新しいまちづくりに挑む



▶案内人

長濱 裕作（ながはま ゆうさく）さん

合同会社Brass Entertainment Company 代表

＼これが聞きたい／

地方でフリーランスコミュニティを活性化させる方法とは？

掛川のどこにポテンシャルを感じているのか？

掛川ビール醸造所

掛川市初！ベルギーで醸造修行をした職人が手がける醸造所『カケガワビール』

掛川の豊富な農作物を使い、掛川を表現するビールを目指し、日本酒蔵とコラボして日本酒ビールを共同開発したりなど密接に結びつく「食」や「農」、そこで形成されるコミュニティを通じて掛川の地域活性を目指している。



走る本屋さん高久書店

2020年2月にベテラン書店員の高木久直さんが開業した10坪に満たない独立系書店。また、書店勤めのかたわら、週末は書店のない地域に車で本を売りに行く「走る本屋」という活動をしている。



本と出合える場所が、まちや人の未来をつくる。



▶ 参考記事

トークセッション

掛川を盛り上げるキーパーソンたちのトークセッション

高木久直（たかぎひさなお）さん

走る本屋さん高久書店 代表

＼これが聞きたい／

- なぜ、地方で町の本屋を作ったのか
- 高木さんが考える、まちに貢献する場作りとは？



★ゲスト

戸田 佑也（とだ ゆうや）さん

一般財団法人 未来を創る財団 事務局長
株式会社あらまほし 代表取締役

「テクノロジーの力でやさしい社会をつくる」を理念に、組織の人材育成やコミュニケーションなど、人にかかわる課題の解決に取り組んでいる。掛川観光協会掛川支部理事や掛川市公衆無線LAN推進協議会委員を務めるなど、地域の社会貢献活動にも積極的に参画している。

＼これが聞きたい／

- 掛川を盛り上げる仕掛けや工夫
- 社会貢献とビジネスのバランス
- 掛川のポテンシャル
- ▶ 参考記事



★ゲスト

匂坂 秀樹（さぎさか ひでき）さん

株式会社クギツケ 代表 / 映像ディレクター

掛川市内の企業と連携をし、「叫べる街、かけがわ」プロジェクトを主催


＼これが聞きたい／

- 掛川を盛り上げる仕掛けや工夫
- 掛川のポテンシャル

▼ 参考記事

叫べる街、かけがわ

街中に茶畑が広がる街、静岡県掛川市。新幹線の駅から少し走れば、緑にあふれた自然豊かな森林

 <https://kakegawasakeberu.studio.site/>

第1回大声選手権を開催します！静岡県掛...

叫べる街、かけがわは、掛川市内の工務店「エフベース」が運営する大人のリノベーションプロジ

 <https://kakegawa.site/2023/02/28/kakegawas...>



★ゲスト

喜多村 純（きたむら じゅん）さん

掛川市地域おこし協力隊

農業による賑わい創出事業による南部地域の活性化する活動を行っている。

南部地域の生産者と販売者を繋ぎ、農産物の販売活動ができるマーケティング人材の育成と仕組みづくりや、スタートアップフェーズの事業経験を活かし、持続的な活動の礎になるプロジェクトの立案等を行っている。

＼これが聞きたい／

- 掛川を盛り上げる仕掛けや工夫
- 掛川のポテンシャル

▼ 参考記事

ビールを地域資源に！沼津・三島市と醸...

ビールに関する豊富な知識と情報を持ち、オピニオンを発信するジャーナリストの協会。メディア



<https://www.jbja.jp/archives/author/beerjunk>

JUNK板村 | note

静岡県在住、広末・松坂世代の髭眼鏡ビアライター。海外を旅して飲んだビールは数知れず。アウ

[n https://note.com/beerjunk](https://note.com/beerjunk)

地域おこし協力隊 喜多村純さん - 掛川市

★掛川市地域おこし協力隊 第1号に芳川さんを委嘱！★地域おこし協力隊とは「地域おこし協力



<https://www.city.kakegawa.shizuoka.jp/gyosei...>



掛川おまけ情報

お時間の許す方は、解散後にぜひ訪れてみてください！

スーパーサンゼン

静岡・掛川市にだけ。それも一店舗しかない超ローカルな「スーパーサンゼン」。安さではなく「おいしい」「楽しい」をコンセプトに他にはない集客術で、地元だけでなく遠方からもお客さんを呼び込み、注目を集めている。



地元高校との共同メニュー開発で地域密着型スーパーを実現



掛川西高校とお惣菜を共同開発

イオンやスーパー成城石井などが参加するお弁当・お惣菜大賞2020,2021の丼部門で2年連続最優秀賞を受賞。

食のプロの技術力と若い感性を融合させた企画がユニーク。